

## 10. 障害者総合支援法、在宅福祉サービス

### 障害者総合支援法、児童福祉法のサービス

(身) (知) (精) (難)

内 容 障害のある方の日常生活や社会生活を支援するための各種サービスです。  
※介護保険の対象となった方は、原則として介護保険制度を利用していただくこと  
となりますので、介護保険制度に関する窓口へお問い合わせください。

利用できる方 身体障害者手帳をお持ちの方、療育手帳をお持ちの方又は知的障害の判定を受けて  
いる方、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、難病の方など  
詳しくは窓口へお問い合わせください。

手 続 き 次ページ以降をご確認いただき、希望のサービスを窓口へ申請してください。  
利用方法 申請に基づき、受給者証が交付され、サービスの利用開始となります。

利用者負担 世帯の所得に応じて負担上限月額（※55 ページ参照）が決められ、ひと月に利用  
したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。ただし、負担上限月  
額よりも、利用したサービス経費の1割に相当する額の方が低い場合には、1割に  
相当する額を負担していただきます。（幼児教育無償化の対象を除く。）

窓 口

障害に関する窓口

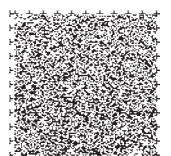
緑区の方	中央区の方	南区の方
緑高齢・障害者相談課 城山福祉相談センター 津久井高齢・障害者相談課 相模湖福祉相談センター 藤野福祉相談センター (→1 ページ)	中央高齢・障害者相談課 (→1 ページ)	南高齢・障害者相談課 (→1 ページ)

難病の方の窓口

緑区の方	中央区の方	南区の方
緑保健センター 緑保健センター 津久井担当 (→2 ページ)	中央保健センター (→2 ページ)	南保健センター (→2 ページ)

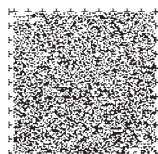
介護保険制度に関する窓口

窓 口	電 話
高齢・障害者支援課（ウェルネスさがみはらB館3階） 高齢支援班（介護予防・生活支援に関すること）	(042) 769-9249
介護保険課（あじさい会館4階） 総務・給付班（給付に関すること） 保険料班（保険料に関すること） 認定班（要介護・要支援認定に関すること）	(042) 707-7058 (042) 769-8321 (042) 769-8342
（要介護（要支援）認定の申請受付） 緑高齢・障害者相談課 高齢福祉班（→3 ページ） 城山福祉相談センター（→1 ページ） 津久井高齢・障害者相談課（→3 ページ） 相模湖福祉相談センター（→1 ページ） 藤野福祉相談センター（→1 ページ） 中央高齢・障害者相談課 高齢福祉班（→3 ページ） 南高齢・障害者相談課 高齢福祉班（→3 ページ） 地域包括支援センター（→8 ページ）	



## 1 サービスの内容

介護給付	居宅介護 (ホームヘルプ)	居宅における入浴、排せつ、食事の介護、家事援助及び通院等の介助などを行います。
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者又は重度の知的障害者、重度の精神障害者であって、常時介護を必要とする方に、居宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動中の介護などを総合的に行います。
	同行援護	視覚障害により移動に著しい困難がある方に、外出時に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、外出する際の必要な援助を行います。
	行動援護	知的障害又は精神障害により行動上著しい困難のある方に、危険を回避するために必要な援護及び外出時における必要な援助を行います。
	療養介護	医療と常時介護を必要とする方に、病院等において機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の世話をを行います。
	生活介護	施設等において、入浴、排せつ、食事等の介護、その他必要な援助を要する方に、日常生活上の支援及び創作的活動の機会の提供を行います。
	短期入所 (ショートステイ)	居宅で介護する人が病気の場合などにより施設等への短期間の入所を必要とする方に、施設で入浴、排せつ、食事の介護等の支援を行います。
	重度障害者等包括支援	常に介護が必要で意思疎通を図ることが困難な方で、四肢のすべてに麻痺等があり、寝たきりの状態にある方や行動上著しい困難を有する方に、居宅介護等複数のサービスを包括的にを行います。
	施設入所支援	施設に入所する方に、主に夜間において、入浴、排せつ、食事の介護等及び日常生活上の支援を行います。
訓練等給付	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活又は社会生活を営むため、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
	就労移行支援	通常の事業所に雇用されることが見込まれる方に、一定期間、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練及びその他の必要な支援を行います。
	就労継続支援 (A型・B型)	通常の事業所に雇用されることが困難な方に、生産活動等の機会の提供、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練及びその他の必要な支援を行います。
	就労定着支援	就労移行支援等を利用して通常の事業所に新たに雇用された方に、一定期間、就労の継続を図るために、企業等との連絡調整や雇用に伴い生じる様々な問題に関する相談、助言等の必要な支援を行います。
	自立生活援助	障害者支援施設やグループホーム等から単身生活に移行した方等に、一定期間、必要な情報の提供や助言等、自立した日常生活を営むための必要な支援を行います。
	共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を行う住居で、主に夜間において、入浴、排せつ、食事の介護等及び日常生活上の援助を行います。
地域相談支援	地域移行支援	障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方等に、住居の確保などの地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行います。
	地域定着支援	居宅において単身等で生活する方に、常時の連絡体制を確保し障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行います。
計画相談支援	サービス利用支援	障害福祉サービス等の利用を希望する方について、心身の状況等を勘案し、サービス等利用計画を作成します。
	継続サービス利用支援	サービス等利用計画の内容について一定期間ごとにモニタリング(検証)を行い、必要に応じて計画の変更等を行います。



障害児通所支援	児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、集団生活の適応訓練、その他必要な支援を行います。
	医療型児童発達支援	児童発達支援及び治療を行います。
	放課後等デイサービス	生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。
	居宅訪問型児童発達支援	居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練その他必要な支援を行います。
	保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行います。
障害児入所支援	福祉型障害児入所施設	保護、日常生活の指導等を行います。
	医療型障害児入所施設	保護、日常生活の指導及び治療を行います。
障害児相談支援	障害児支援利用援助	障害児通所支援等の利用を希望する方について、心身の状況等を勘案し、障害児支援利用計画を作成します。
	継続障害児支援利用援助	障害児支援利用計画の内容について一定期間ごとにモニタリング（検証）を行い、必要に応じて計画の変更等を行います。

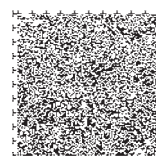
神奈川県内の指定障害福祉サービス事業所等については、ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ」(<http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>)で検索することができるほか、ウェブサイト「WAM NET」(<https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/syogai/>)で全国の事業所詳細情報を検索することができます。



「障害福祉サービスかながわ」



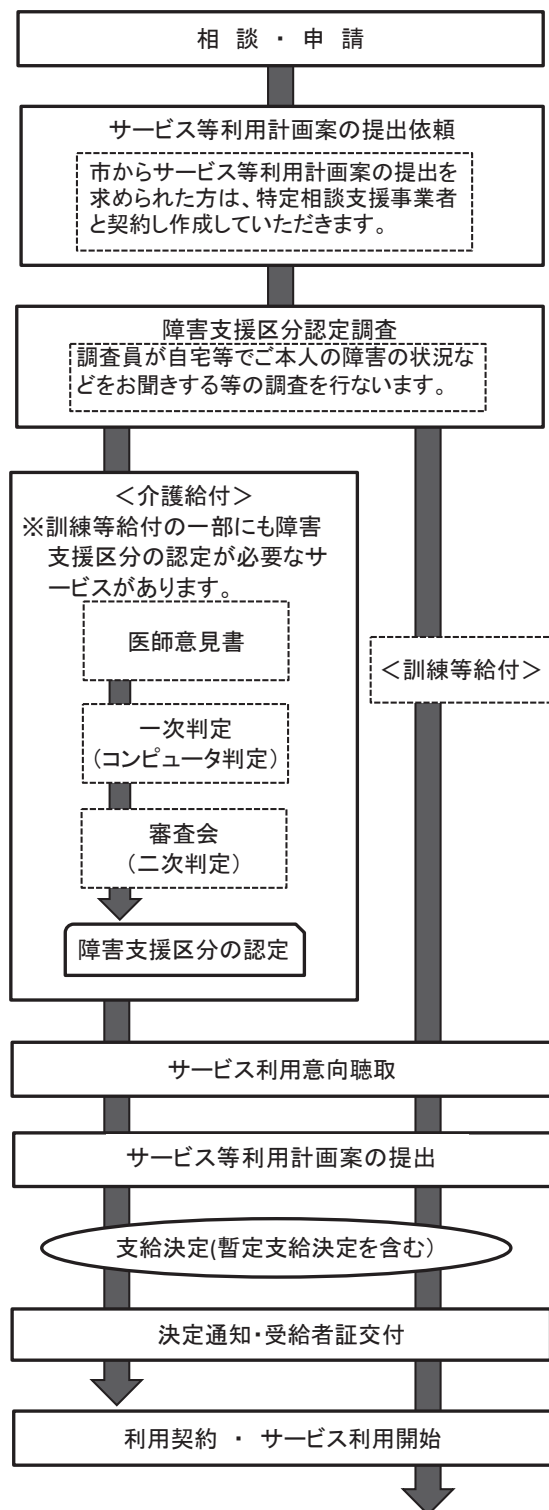
「WAM NET」



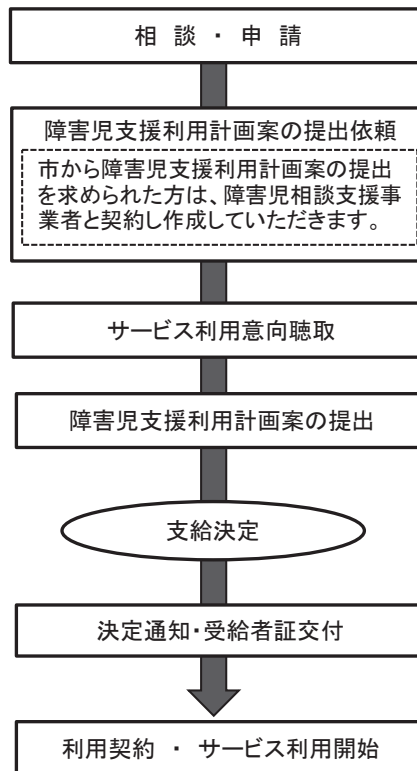
## 2 申請から利用までの流れ

### 申請から利用までの流れ（概略）

#### 障害者の場合



#### 障害児の場合

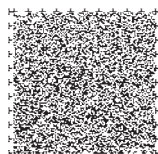


○ 障害福祉サービス、障害児通所支援の利用に必要な計画案について

- ・ 障害福祉サービスを利用  
⇒ サービス等利用計画案
- ・ 障害児通所支援を利用  
⇒ 障害児支援利用計画案
- ・ 障害福祉サービスと障害児通所支援を併用  
⇒ サービス等利用計画案及び障害児支援利用計画案

※ サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案の代わりにセルフプランを提出することもできます。

暫定支給決定の場合、継続効果を確認した上で継続利用となります。





### 3 利用者負担上限額

区 分	収入状況	負担上限月額			
		在宅の方	グループホーム に入居する方	施設に入所 する方	同行援護のみ の方・移動支 援のみの方
生活保護	生活保護受給世帯	0 円	0 円	0 円	0 円
低所得	市民税非課税世帯	0 円	0 円	0 円	0 円
一般	所得税非課税世帯	5,000 円 (障害児は 4,600 円)	5,000 円	—	0 円
	障害児、又は、 施設に入所する 20歳未満の方	4,600 円	—	9,300 円	4,600 円
	障害者、又は施設 に入所する20 歳以上の方	9,300 円	9,300 円	37,200 円	9,300 円
	上記以外の方	37,200 円	37,200 円	37,200 円	37,200 円

※1 同一世帯全員の所得で判断します。ただし、18 歳以上（施設に入所する方は 20 歳以上）の障害者の方は、本人及び配偶者のみの所得で判断します。

※2 平成 30 年 7 月 1 日以降の収入状況を判断する際の市民税所得割の額は、税率 6 パーセントにより算定した額となります。

※3 満 3 歳になった後の最初の 4 月から小学校入学までの 3 年間について、次のサービスを利用する場合は、利用者負担が無償となります。

- ・ 児童発達支援                      ・ 医療型児童発達支援                      ・ 居宅訪問型児童発達支援
- ・ 保育所等訪問支援                      ・ 福祉型障害児入所施設                      ・ 医療型障害児入所施設

### 4 軽減措置について

#### (1) 障害児通所支援に係る利用者負担の多子軽減措置

障害児通所支援を利用している児童と同一世帯に、保育所や幼稚園等に通う児童がいて、障害児通所支援を利用する児童が第 2 子、第 3 子で一定の要件を満たしている場合、利用者負担について軽減措置が図られます。なお、年収約 360 万円未満相当世帯においては、軽減措置の適用に当たり、第何子かを決定する際に算定対象となる者を、未就学児に限らず算定します。

#### (2) 高額障害福祉サービス等給付費等の償還払いによる軽減措置

以下の場合に利用者負担額の一部が償還払いにより軽減されます。償還払いを受けるためには、申請が必要です。

① 同一世帯に属する支給決定障害者等が同一の月に受けたサービス等（障害福祉サービス、補装具費、介護保険法に基づく居宅サービス等、障害児通所支援、障害児入所支援、移動支援事業、日中短期入所事業）に係る利用者負担の合計額が一定の額を超える場合

② 65 歳に達する前 5 年間にわたって特定の障害福祉サービスを利用していた低所得の方であって一定の要件を満たす方のうち特定の介護保険サービスを利用した場合（平成 30 年 4 月利用分より）

#### (3) 介護保険サービスの利用者負担軽減措置

障害福祉サービスを長期間利用してきた方で、介護保険サービスの利用に移行した場合に次の要件をすべて満たしている方を対象に、償還払いにより障害福祉相当介護保険サービス（※1）の利用者負担を軽減する制度（高額障害福祉サービス等給付費）があります。償還払いを受けるには申請が必要です。

① 65 歳に達する日前 5 年間にわたり介護保険相当障害福祉サービス（※2）の支給決定を受けていたこと

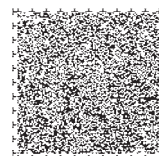
② 65 歳に達する日の前日及び申請時において本人と配偶者が市民税非課税者又は生活保護受給者等であること

③ 65 歳に達する日の前日において障害支援区分 2 以上であったこと

④ 65 歳まで介護保険サービスを利用していなかったこと

※1 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護

※2 居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所



## 在宅福祉サービス

介護給付や訓練等給付によるサービスとは別に、地域での生活を支える事業を行います。なお、事業によっては自己負担があります。

### 移動支援事業（ガイドヘルプ）

（身）（知）（精）（難）

内 容  
対象となる方

屋外での移動が困難な障害のある方に、外出時に必要な支援を行います。  
次のいずれかに該当する、市内在住の方や市から障害福祉サービス受給者証の交付を受けてグループホームに入居している方など（児童を含む）。ただし、施設に入所している方及び同行援護が利用できる方は対象となりません。

①身体障害者手帳の交付を受けている方で、次のいずれかに該当する方

ア 視覚障害 1 級から 6 級の方

イ 肢体不自由 1 級で両上肢と両下肢に障害のある方、又はこれに準ずる方

②療育手帳の交付を受けている方、又は児童相談所・知的障害者更生相談所で知的障害があると判定された方

③精神障害者保健福祉手帳 1 級から 3 級の方、又はこれに準ずる方

④難病等の対象疾病に罹患している方で、その疾病を起因として、視覚、下肢又は体幹機能に障害がある方

利用者負担

世帯の所得に応じて決定する負担上限月額と、ひと月に利用したサービス経費の 1 割に相当する額を比較し、いずれか低い額が利用者負担額（55 ページ参照）となります。なお、バス等の公共交通機関を利用した場合の乗車料金は、ヘルパー分も含めて基本的に利用者の実費負担になりますが、事業者毎に扱いが異なる場合がありますので、事前に事業者にご確認ください。

対象となる  
外出の内容

社会生活上必要不可欠な外出や、社会参加等の余暇活動に関する外出で、次のような外出となります。

①学校行事（入学式、卒業式、運動会、保護者会等）、PTA 活動

②家計の維持に係る手続・相談（生活費払戻し、公共料金支払い等）

③住居の維持に係る手続・相談（住居の取得、維持管理、賃貸契約等）

④生活必需品の買物

⑤理容・美容

⑥就職・就学のための活動

⑦冠婚葬祭（通夜、告別式、お見舞い、結婚式等）

⑧社会的慣習（初詣、七五三、墓参り等）

⑨余暇活動（スポーツ・文化・レクリエーション活動、ショッピング、旅行等）

対象とならない  
外出の内容

①宿泊を伴う外出

②通学等で通年かつ長期にわたる外出

※通常送迎している家族等が病気となったときなど、合理的な理由により一時的に送迎ができない場合については相談窓口にご相談ください。

③宗教・政治・経済的活動に係る外出

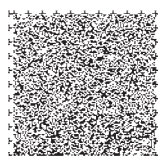
④社会通念上、本事業を適用することが適当でない外出（ギャンブル等）

⑤移動支援の目的に当たらない外出

窓 口



緑区の方	中央区の方	南区の方
緑高齢・障害者相談課 城山福祉相談センター 津久井高齢・障害者相談課 相模湖福祉相談センター 藤野福祉相談センター （→1 ページ）	中央高齢・障害者相談課 （→1 ページ）	南高齢・障害者相談課 （→1 ページ）



# 日中短期入所事業

（身）（知）（精）

内 容 障害者又は障害児を一時的に預かることにより、障害者等に日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練等を行います。

利用者負担 世帯の所得に応じて決定する負担上限月額と、ひと月に利用したサービス経費の1割に相当する額を比較し、いずれか低い額が利用者負担額となります。

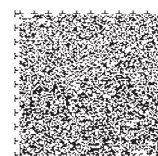
利用できる方 日中において、一時的に見守り等の支援が必要な方で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、又は児童相談所・知的障害者更生相談所で知的障害があると判定された方

窓 口	緑区の方	中央区の方	南区の方
	緑高齢・障害者相談課 城山福祉相談センター 津久井高齢・障害者相談課 相模湖福祉相談センター 藤野福祉相談センター (→1 ページ)	中央高齢・障害者相談課 (→1 ページ)	南高齢・障害者相談課 (→1 ページ)

名 称	住 所	問い合わせ先	主たる対象者				定員
			身	知	精	児	
くりのみ学園短期入所	〒252-0186 緑区牧野 6076-1	電 話 (042)689-2233 F A X (042)578-2702		○			2
藤野さつき学園短期入所	〒252-0186 緑区牧野 9638	電 話 (042)689-2873 F A X (042)689-3066		○	○		2
“ほっ”とハウス☆歩歩	〒252-0184 緑区小淵 2026-1	電 話 (042)687-4020 F A X (042)687-4020	○	○	○	○	10
津久井やまゆり園	〒252-0174 緑区千木良 476	電 話 (042)684-3511 F A X (042)684-4680		○		○	15
リバルテ ルット	〒252-0135 緑区大島 2222-3	電 話 (042)760-1791 F A X (042)760-1793		○			6
「ループ」短期入所	〒252-0158 緑区又野 243-2	電 話 (042)738-4709 F A X (042)738-4709	○	○	○	○	10
「ループⅡ」短期入所	〒252-0135 緑区大島 1810-5	電 話 (042)813-8565 F A X (042)813-8565	○	○	○	○	10
「ループⅢ」日中短期入所	〒252-0104 緑区向原 1-10-45	電 話 (042)814-8394 F A X (042)814-8394	○	○	○	○	10
相模原自閉症支援センター	〒252-0244 中央区田名 7236-3	電 話 (042)760-1033 F A X (042)760-7115		○			2
社会福祉法人相模福祉村 たんぽぽの家	〒252-0244 中央区田名 6769	電 話 (042)761-7788 F A X (042)763-3318	○	○	○	○	30
児童発達支援センター 青い鳥	〒252-0244 中央区田名 4224-1	電 話 (042)713-3838 F A X (042)713-3836				○	5
日中短期ひかり	〒252-0243 中央区上溝 3905-18	電 話 (042)713-1525 F A X (042)713-1524	○	○	○	○	8
相模クラーク学園	〒252-0251 中央区大野台 3-11-1	電 話 (042)786-0969 F A X (042)786-0979	○	○	○	○	10
日中短期入所まはな	〒252-0213 中央区すすきの町 17-9-1	電 話 (042)707-8709 F A X (042)707-8724		○		○	4
日中短期入所おはなまう	〒252-0226 中央区陽光台 4-36-12 1F	電 話 (042)707-8704 F A X (072)707-8764		○	○	○	5
日中短期 ヒカリエ	〒252-0233 中央区鹿沼台 2-24-13	電 話 (042)704-9200 F A X (042)704-9201	○	○	○		20
日中短期入所事業所 モアナ	〒252-0235 中央区相生 4-4-8	電 話 (042)851-4776 F A X (042)851-4886				○	4
相模はやぶさ学園	〒252-0335 南区下溝 4350	電 話 (042)777-8823 F A X (042)777-8883				○	20
相模原療育園	〒252-0334 南区若松 1-21-9	電 話 (042)749-6316 F A X (042)749-6356		○		○	空床型
社会福祉法人相模福祉村 虹の家	〒252-0335 南区下溝 4410	電 話 (042)777-0111 F A X (042)777-1133	○	○	○	○	20
日中一時支援事業所 える☆える	〒252-0311 南区東林間 6-15-8 1F	電 話 (042)748-3525 F A X (042)748-3525		○	○		1

10

障害者総合支援法、在宅福祉サービス



## 北里大学病院 小児在宅支援部門あすぱら（要医療ケア障害児在宅支援事業）

在宅で療養する医療的ケアが必要な重症心身障害児等に対し、短期間の入院や、日中お預かりして医療的ケア等を提供する病床です。

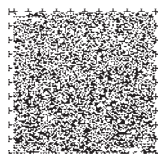
名称	内容・費用等	対象者	所在地・申し込み先
メディカル ショートステイ病床	一時的に看護等が困難になった場合に、短期間入院できる病床です。 医療保険を利用した入院です。 ※各種医療制度の適用についてはご相談ください。	・在宅で療養する医療的ケアが必要な重症心身障害児等 ・1歳以上18歳未満（高校3年生まで） ・日帰り短期ベッドについては、市児童相談所の重症心身障害児の認定を受け、かつ医療型短期入所サービスの支給決定を受けている方 ※医療的ケアの対応が可能です（申し込み時、ご相談ください）。	北里大学病院 トータルサポートセンター  〒252-0375 南区北里1-15-1 電話(042)778-8438 FAX(042)778-9396  受付時間 月曜日～金曜日 (祝祭日を除く) 午前9時～午後4時
(短期入所) 日帰り短期ベッド  ※利用の際の支給決定については、相談窓口(→1ページ)にお問い合わせください。	在宅療養中の重症心身障害児を日中お預かりして医療的ケアを行う病床です。 障害者総合支援法に基づく医療型短期入所サービスを利用します。		

### 障害者一時ケア事業

(身)(知)(精)

市内にお住まいの障害児者の保護者や家族等の社会参加や休養等のために、一時ケア実施団体が、障害児者を一時的に介護します。なお、医療的ケアが必要な方は利用できないことがありますので、事前に以下の各施設にお問い合わせください。

名称・住所・対象者	申し込み先	利用できる日時	利用者負担
一時ケア もみの木ホーム  〒252-0243 中央区上溝1887-1  対象者：知的障害のある方	(一社)相模原市 手をつなぐ育成会  電話・FAX (042)759-4310 (042)759-4353	【デイケア】 午前9時～午後5時 (1月1日～7日、8月12日～16日、12月31日を除く)  【ナイトケア】 午後5時～午前9時 (1月1日～7日、8月12日～16日、12月31日を除く)	○育成会会員 1時間あたり 200円 ○一般(登録料 3,000円/年) 1時間あたり 400円  ○早朝、デイからの延長 1時間あたり 500円 ○宿泊 1時間あたり 450円 (別途食事代の負担あり)
ふれあい デイホーム  〒252-0303 南区相模大野6-22-1  対象者：障害のある方など	(福)相模原市 社会福祉協議会 南区事務所  電話・FAX (042)765-2186	月～金曜日 午前10時～午後5時 土曜日、夏休み等 午前9時～午後4時 (日曜祝日、1月1日～3日、12月29日～31日を除く)	4時間以内の場合 500円 4時間を超える場合 1,000円
障害者支援センター 松が丘園  〒252-0223 中央区松が丘1-23-1  対象者：障害のある方 (学齢期前のお子さんは利用できません)	障害者支援センター 松が丘園  電話 (042)758-7835 FAX (042)758-7070	毎日 午前8時30分～午後10時 (1月1日～3日、12月29日～31日、松が丘園の休館日を除く)	4時間以内の場合 500円 4時間を超えて 8時間以内の場合 1,000円 8時間を超える場合 1,500円





## 紙おむつ・尿とりパッドの支給

⑤ ⑥

内 容	障害児者や在宅のねたきり高齢者等で、常に紙おむつ・尿とりパッドを必要としている方に対し、その病苦の軽減を図るために、紙おむつ・尿とりパッドを支給します。				
	<table border="1"> <tr> <td>紙おむつ</td><td>パンツ型、テープ型、フラット型、子供用テープ型</td></tr> <tr> <td>尿とりパッド</td><td>男性用、男女兼用、長時間用、夜用、昼用</td></tr> </table>	紙おむつ	パンツ型、テープ型、フラット型、子供用テープ型	尿とりパッド	男性用、男女兼用、長時間用、夜用、昼用
紙おむつ	パンツ型、テープ型、フラット型、子供用テープ型				
尿とりパッド	男性用、男女兼用、長時間用、夜用、昼用				
利用できる方	市民税が非課税又は均等割のみ課税の世帯に属する身体障害者手帳下肢もしくは体幹機能障害 1 級・2 級又は療育手帳 A1・A2 の方（生活保護制度利用者を除く）				
窓 口	<p>【緑区の方】</p> <p>緑高齢・障害者相談課高齢福祉班（→3 ページ）</p> <p>城山福祉相談センター（→1 ページ）</p> <p>津久井高齢・障害者相談課（→3 ページ）</p> <p>相模湖福祉相談センター（→1 ページ）</p> <p>藤野福祉相談センター（→1 ページ）</p> <p>【中央区の方】</p> <p>中央高齢・障害者相談課高齢福祉班（→3 ページ）</p> <p>【南区の方】</p> <p>南高齢・障害者相談課高齢福祉班（→3 ページ）</p>				

## 障害者施設通所交通費の助成

⑤ ⑥ ⑦ ⑧

内 容	障害者施設等への通所に要した交通費の一部を助成します。
対 象 施 設	指定障害福祉サービス（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援）を行う施設、地域活動支援センター（一部施設を除く）
利用できる方	相模原市に居住し、障害者施設等に通所している障害等のある方（生活保護制度利用者を除く）
窓 口	<p>【各区共通】</p> <p>高齢・障害者支援課（ウェルネスさがみはら B 館 3 階） 電話(042)769-8355</p>

## 地域活動支援センター

創作的活動や生産活動、交流促進などの活動の場を設けます。

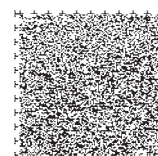
ホームページアドレス

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kosodate/fukushi/1026641/shogai/shisetsu/1006514.html>



10

障害者総合支援法、在宅福祉サービス



## 福祉有償運送（移送サービス）

身 知 精

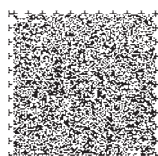
福祉有償運送は、身体障害者、要介護者等の方で、タクシー等の公共交通機関を使用して移動することが困難な方を対象に、有償で行う車両による移送サービスです。利用に当たり、事業者ごとに、利用登録、利用制限、利用者負担などの要件があります。詳しくは、各事業所へご相談ください。



法人名／事業所名	所在地	連絡先
(特非) 津久井福祉会	緑区中野277-2	電話(042)780-7977 F A X(042)780-7978
(特非) ちゃれんじ倶楽部	緑区又野243-2	電話(042)738-4709 F A X(042)738-4709
(一社) しらゆり介護サービス	緑区原宿2-7-39	電話(042)851-2877 F A X(042)783-5608
(特非) ワーカーズ・コレクティブはっぴー	緑区二本松1-2-21	電話(042)771-8061 F A X(042)703-4187
(特非) アイ・介護サービス	中央区弥栄1-18-5	電話(042)730-5883 F A X(042)730-5884
(特非) ワーカーズ・コレクティブわか	中央区中央3-3-6 アーバン木下103	電話(042)750-1416 F A X(042)707-9519
(一社) 相模原市手をつなぐ育成会 もみの木S	中央区上溝1887-1	電話(042)759-4310 F A X(042)759-4310
神奈川高齢者生活協同組合 さがみはらケアステーション「あやとり」	中央区千代田1-1-1 千代田ビル305	電話(042)707-1180 F A X(042)750-7762
(特非) 相模原ボランティア協会	中央区富士見6-1-20 あじさい会館2階	電話(042)759-7982 F A X(042)759-7982
(福) 大地の会	中央区田名塩田2-5-24	電話(042)778-2902 F A X(042)778-4096
(特非) 地域住民の安全生活応援団 おでかけサポート相模原	中央区緑が丘2-43-24	電話(042)648-5839/ 090-1607-5587 [坂本] F A X(042)697-6373
(特非) 歩	愛川町中津300-1 エスポワールA201	電話(046)281-7916 F A X(046)281-7917

10

障害者総合支援法、在宅福祉サービス



## 手話通訳者・要約筆記者の派遣等

身

内 容

市内に居住する聴覚又は音声・言語機能に障害のある方の相談・手続等におけるコミュニケーションを支援します。

・設置手話通訳者による市の窓口での手話通訳

次の曜日は、設置手話通訳者が各設置場所に待機し、依頼に応じて市の窓口における相談・手続の通訳をします。



設置場所	曜日（祝日等を除く）	時間
緑高齢・障害者相談課	毎週 月曜日と木曜日	午前 9 時～正午 及び 午後 1 時～5 時
中央高齢・障害者相談課	毎週 火曜日と金曜日	
南高齢・障害者相談課	毎週 水曜日と金曜日	

※予約は不要です。直接窓口にお越しください。なお、混雑の状況によってはお待ちいただくこともあります。

・遠隔手話通訳サービス

設置窓口到手話通訳者が不在の場合、パソコンのビデオ機能を使って、他の区にいる通訳者につなぎ、通訳します。

・手話通訳者・要約筆記者の派遣

市役所・学校・病院等における相談・手続等、社会生活におけるコミュニケーションを支援するため、手話通訳者・要約筆記者を派遣します。

<要約筆記の種類>

手書き 要約筆記	ノート テイク	聴覚に障害のある方が1～2人で参加する場で、筆記者が聴覚に障害のある方の隣に座り、紙などに要約筆記をする方法
	全体投影	聴覚に障害のある方が多数参加する場で、要約筆記した内容をスクリーンに投影する方法
パソコン 要約筆記	ノート テイク	聴覚に障害のある方が1～2人で参加する場で、筆記者が聴覚に障害のある方の近くで、要約筆記した内容をパソコンで見る方法
	全体投影	聴覚に障害のある方が多数参加する場で、要約筆記した内容をスクリーンに投影する方法

※要約筆記とは、話されている内容をその場でペンや紙、パソコンなどを使って文字にして伝えることをいいます。

利 用 方 法

利用する日の7日前までに申請書を提出してください。

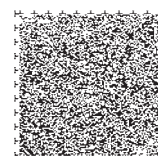
相模原市役所ホームページから電子申請もできます。

窓 口  
F A X

高齢・障害者支援課（ウェルネスさがみはら B 館3階） 電話 （042）769-8355  
（042）776-3351（手話通訳者等派遣申請専用）

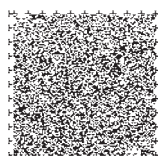
10

障害者総合支援法、在宅福祉サービス



その他の意思疎通支援など

名称	内容	窓口	ホームページ など
盲ろう者通訳・介助員の派遣	病院への通院や冠婚葬祭、官公庁での手続きなど、コミュニケーションの支援や外出時の移動介助を行う通訳・介助員を派遣します。 ※事前登録要	〒251-8533 藤沢市藤沢 933-2 神奈川県盲ろう者支援センター 電話 (0466)27-1911 FAX (0466)27-1225 メール haken@kanagawa-wad.jp	
盲ろう者相談	盲ろう者に関する相談を行っています。※予約必要	相談用電話 (0466)90-5727 相談用FAX (0466)90-5727 相談用メール moro-sodan@kanagawa-wad.jp	
失語症者向け意思疎通支援者の派遣	派遣依頼の申請により派遣決定を受けた方へ、外出の同行及び外出先でのコミュニケーションの支援を行う意思疎通支援者を派遣します。※事前登録要	神奈川県言語聴覚士会 メールアドレス ishisotsuu@kanagawa-slht.org ホームページ <a href="https://www.kanagawa-slht.org">https://www.kanagawa-slht.org</a>	
電話リレーサービス	きこえない方（聴覚や発話に困難がある方）ときこえる方との会話を、通訳オペレーターが手話・文字と音声を通訳することにより電話で双方向につなぐサービスです。※事前登録要	一般財団法人 日本財団電話リレーサービス 電話 03-6275-0912 FAX 03-6275-0913 メール info@nftrs.or.jp	
全身性障害者等入院時コミュニケーション支援事業	意思疎通が困難な脳性マヒ等の全身性障害者や知的障害者が病院に入院した場合に、日常の支援に携わっている事業所の職員をコミュニケーション支援員として派遣し、医療従事者（医師、看護師等）との意思疎通を図り、円滑な診療行為を受けられるよう支援します。※事前登録要	緑高齢・障害者相談課 城山福祉相談センター 津久井高齢・障害者相談課 相模湖福祉相談センター 藤野福祉相談センター 中央高齢・障害者相談課 南高齢・障害者相談課 (→1 ページ)	※家族等がコミュニケーション支援を行うことができる方及び重度訪問介護を利用している障害支援区分6の方は除く。
聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室	自立や社会参加を目的とした聴覚障害全般の知識やコミュニケーション手段の一つである手話の講座、当事者同士の交流の場を提供します。	障害者支援センター松が丘園 〒252-0223 中央区松が丘 1-23-1 電話 (042) 758-2121 FAX (042) 758-7070	※詳細内容については、広報さがみはら等でお知らせします。





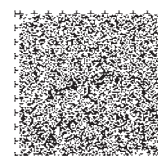
# 障害者在宅福祉サービス総合利用登録

身 知 精

内 容	総合利用登録をしていただくことにより、次のサービスを受けることができますようになります。また、登録と同時に利用を始めることもできます。		
登録できる方	① 寝具乾燥消毒 ②訪問入浴サービス ③給食サービス ④緊急通報サービス		
手 続 き	在宅福祉サービスの利用を必要とされる重度の障害児者手帳		
窓 口	※総合利用登録に際し、介護保険対象者で、介護保険制度と重複する訪問入浴サービスを利用する場合は、介護保険制度が優先されます。		
	緑区の方	中央区の方	南区の方
	緑高齢・障害者相談課 城山福祉相談センター 津久井高齢・障害者相談課 相模湖福祉相談センター 藤野福祉相談センター (→1 ページ)	中央高齢・障害者相談課 (→1 ページ)	南高齢・障害者相談課 (→1 ページ)
	65 歳以上で介護保険の要介護 1 から 5 の認定を受けている方		
	【緑区の方】 緑高齢・障害者相談課高齢福祉班 (→3 ページ) 城山福祉相談センター (→1 ページ) 津久井高齢・障害者相談課 (→3 ページ) 相模湖福祉相談センター (→1 ページ) 藤野福祉相談センター (→1 ページ)	【中央区の方】 中央高齢・障害者相談課 高齢福祉班 (→3 ページ)	【南区の方】 南高齢・障害者相談課 高齢福祉班 (→3 ページ)
	サービス内容	利用できる方	
①寝具乾燥消毒	事業者が家庭を訪問し、寝具（掛布団、敷布団、毛布）をお預かりして乾燥消毒を年 6 回行います。	重度障害児者（身体障害者手帳 1・2 級又は療育手帳 A1・A2）世帯に属する在宅で、寝具乾燥消毒の必要が認められる方	
②訪問入浴	週 1 回（7 月～9 月は週 2 回）、移動入浴車が家庭を巡回訪問して、入浴のお手伝いをします。	重度の障害児者（身体障害者手帳 1 級・2 級又は療育手帳 A1・A2）で、家庭での入浴が困難な方	
③給食	週 4 回以内、給食を自宅まで直接お届けします。 ※提供時間等は地区により異なります。 1 食あたり 500 円	重度の障害児者（身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳 A1・A2 又は精神障害者保健福祉手帳 1・2 級）で、ひとり暮らし又は家族等から食事の提供が受けられない状況にあり、自分で食事の支度をすることが困難な方	
④緊急通報	在宅中の急病などの緊急時に、押しボタンで自動的に 119 番通報することができる装置をご自宅に設置します。	①ひとり暮らしの重度身体障害児者（身体障害者手帳 1・2 級）及び重度身体障害児者のみの世帯 ②常時注意が必要な重度身体障害児者がいる世帯	

10

障害者総合支援法、在宅福祉サービス



# ①認知症高齢者・障害者等見守り検索サービス

知 精

内 容	障害や認知症のある方の行方がわからなくなったときに、GPS端末を活用し、その居場所を家族等に伝えます。
利用者負担	機器のレンタル料として毎月1,155円 (市民税非課税世帯は420円、生活保護世帯は無料)
利用できる方	I 在宅の方で、知的障害者でサービスが必要と認められる方 II 在宅の方で、介護保険の要介護・要支援認定を受け、認知症によりサービスが必要と認められる方



# ②認知症高齢者・障害者等 SOS ネットワークシステム（見守りシール事業含む）

知 精

内 容	障害や認知症のある方の行方がわからなくなったとき、警察や交通機関、福祉関係機関等との連携により、早期発見を支援するネットワークです。また、希望者へは衣類や持ち物など様々な箇所へ貼り付け可能な二次元コードの見守りシールを発行します。シールを読み取り、専用のコールセンターに問い合わせることで行方不明者の身元照会、家族への迅速な連絡等が可能となります。
手 続 き	ご本人の写真（できるだけ最近撮影したもの6cm×6cm以内）を5枚ご用意ください。

## ① ②の窓口

### 障害のある方

緑区の方	中央区の方	南区の方
緑高齢・障害者相談課 城山福祉相談センター 津久井高齢・障害者相談課 相模湖福祉相談センター 藤野福祉相談センター (→1 ページ)	中央高齢・障害者相談課 (→1 ページ)	南高齢・障害者相談課 (→1 ページ)

### 認知症のある方

【緑区の方】	【中央区の方】	【南区の方】
緑高齢・障害者相談課高齢福祉班 (→3 ページ) 城山福祉相談センター (→1 ページ) 津久井高齢・障害者相談課 (→3 ページ) 相模湖福祉相談センター (→1 ページ) 藤野福祉相談センター (→1 ページ)	中央高齢・障害者相談課 高齢福祉班 (→3 ページ)	南高齢・障害者相談課 高齢福祉班 (→3 ページ)

行方がわからなくなったときは警察署へ連絡しましょう。

警察署へ「行方不明者届」を提出してください。また、認知症高齢者・障害者等 SOS ネットワークシステムに登録をしている方は、その旨を伝えてください。

相模原警察署	生活安全第一課	電話(042)754-0110
相模原南警察署	生活安全課	電話(042)749-0110
相模原北警察署	生活安全課	電話(042)700-0110
津久井警察署	生活安全課	電話(042)780-0110

※ 「ひばり放送」での検索を依頼する場合は

警察署に「行方不明者届」の提出をして、「ひばり放送」を依頼してください。その後、警察から市への依頼により放送されます。連動して防災メールと tvk(テレビ神奈川)データ放送も配信されます。

※ 「エフエムさがみ」での検索を依頼する場合は

警察署に「ひばり放送」を依頼する際、あわせて依頼してください。  
(直接エフエムさがみに依頼することも可能です)

エフエムさがみ 電話(042)776-3980

